

授業改善 3つの強化ポイント 2016

～アクティブ・ラーニングをどの教科・領域でも実現するために～

① 児童生徒の学習意欲を高める課題の工夫

- 本時の狙い達成につながり「必然」がある学習課題を設定する。
- 一人一人が取り組みたくなる課題提示の工夫をする。
- 学習の見通しを持たせ、課題意識を喚起する。



② 考えを広げ深める児童生徒主体の学び合い

- 教科の狙いに沿った学び合いの目的を明確にする。
- 主体的・協働的に学ぶ学習を効果的に取り入れる。
- 児童生徒の考えを深める教師のコーディネートを工夫する。



③ 学びを自覚し、次につなげる振り返る活動の充実

- 教科の特質を踏まえ、確実な定着を図る。
- 児童生徒自身が学習内容を実感するまとめを行う。
- 自己の変容を自覚させ、達成感と次への課題意識を持たせる。



3つの強化ポイント 実践チェックシート

① 児童生徒の学習意欲を高める課題の工夫

- 1 本時の狙いを達成するための課題になっている。
- 2 学習指導要領の趣旨や指導事項を踏まえ課題を設定している。
- 3 児童生徒にとって必然性があり、考えたくなる課題になっている。
- 4 児童生徒が進んで考え、探究し続けることができる課題になっている。
- 5 資料や問題等の提示を工夫し、児童生徒の問いや気付きを引き出している。
(ICTの活用、実物の提示、演示、生活経験の活用等)
- 6 単元・題材全体の見通しを児童生徒と共有し、課題意識を持続させている。
- 7 本時の学習の見通しを持たせ、主体的な課題解決を促している。
- 8 既習事項や単元の流れがわかる掲示等、学習環境の工夫をしている。



② 考えを広げ深める児童生徒主体の学び合い

- 1 本時の狙いに沿った学び合いの目的を明確にしている。
- 2 学び合いの目的を児童生徒と共有している。
- 3 目的に即して、話し合いの視点やポイントを示している。
- 4 ペアやグループ学習等を行う必然性を児童生徒に感じさせている。
- 5 ペアやグループ学習等を取り入れ、児童生徒の思考を広げ深めている。
- 6 思考ツールやワークショップ形式を取り入れるなど交流方法を工夫している。
- 7 自分の考えを持つ時間を確保している。
- 8 児童生徒が根拠や筋道を明確にして、自分の考えを表現できるようにしている。
- 9 全体交流の場面では、意見の取り上げ方や問い返し・ゆさぶりを工夫し、考えをさらに深めている。
- 10 大切な見方や考え方を児童生徒自身に見いださせ、表現させている。



③ 学びを自覚し、次につなげる振り返る活動の充実

- 1 まとめ・振り返りの場면을十分確保している。
- 2 教科の特質や本時の狙いに応じた振り返る活動になっている。
- 3 まとめの内容が学習課題と整合している。
- 4 児童生徒の表現を生かしてまとめている。
- 5 学習したことを振り返ることができる板書になっている。
- 6 児童生徒の変容や成長を積極的に評価し、達成感を味わわせている。
- 7 新たな問題や次への課題を見いだす場面になっている。
- 8 本時の学びが定着・発展するよう家庭学習につないでいる。

